

～TANKYU～

谷地南部小学校
校内研究だより
2023. 5. 18
No.10 文責 伊藤

言葉の意味

前号で、「何でも対応できる研究部をご活用ください！」と締めました。しかし、この言葉には似たような言葉がいくつかあります。「使用」と「利用」です。大体のニュアンスで言わんとしていることは分かるので、特に使い分ける必要性を感じる場面は少ないように感じます。しかし、保護者に伝えるのが下手で教頭先生から毎回添削してもらわないといけない私としては、不必要な誤解を生まないために言葉の意味をよく知って使い分けることが大切だと感じています。

それでは、「使用」「利用」「活用」は、それぞれどんな意味なのでしょう。以下にまとめます。

	つかう対象がモノ	つかう対象が人
使用	本来の目的のために使う。	賃金を支払い人を働かせる。
利用	本来の目的以外のことに使い便利にする。	自分が得をするために他人を使う。
活用	そのものの能力をいかして使う。	その人の能力をいかして使う。

（引用：99BAKO「使用・利用・活用」対象がモノと人とで異なる違いと使い分け）

さらに調べるとこんな説明もありました。

【使用】物に本質的な変更を加えたりすることなく、その用法に従って利用すること

【利用】使用を便利にすること。

自分が得をするための手段として使うこと。

【活用】いかして用いること。はたらかせて用いること。

そのものの本質・能力をいかして使うこと。

引用：小学館『新選国語辞典』

小学館『日本国語大辞典』

とすると、私の使い方は間違っていなかったということになります。安心しました。どんだんご「活用」ください！

言葉は武器にもなりますが、諸刃の剣であり、自分を苦しめる原因になりかねません。ぜひ、多くの言葉を知って正しく使いたいものですね。